



自治振興会の紹介

牧自治振興会



「笑顔あふれる牧」をスローガンに、
牧自治振興会は「誰かが楽しく、幸せに、笑顔で暮らせる地域づくり」をめざし、牧五和会や牧福祉協議会、老人会、女性会等の地域団体（十一団体）の御協力を頂き「笑顔あふれる牧」をスローガンに取り組んでおります。
地域づくりの活動は、三年前に相繼ぎられた「牧地域づくり研究協議会」の活動を、自治振興会の専門部会へと引き継ぎ活動を行っております。

専門部会である「牧地域づくり部会」は、三つの班で構成され、大きな目標としては、【総務・企画班】牧地域のシンボルづくりと環境整備への取り組み、【産業・文化班】地域農業と地域資源の維持・継承、活用の取り組み、【福祉・教育班】高齢者を支える体制づくりなどの具体的検討を行うこととしております。
本年度の取り組みは、地域づくりの課題について地域の方の意見を聞くことを重点に置き、六月には各班（五地域）ごとに「地域づくり懇談会」を開催しました。
懇談会を每晚行うことも大変でしたが、懇談会で出された意見を地域づくりのご生かすが今後の課題です。
現在は、出された意見の集約・具体的取り組みの検討を行っています。活動も一挙に進捗とはいきませんが、地道に活動を続けたいと思います。
こうした取り組みを少しでも住民の方にお知らせし、ご意見を頂くため、会の情報誌を発行することにしました。「牧自治振興会だより」の発行です。情報誌は活動内容の周知と同時に活動が住民に見えるようにとの思いから発行しています。
これからも、地域が抱える様々な問題に自治振興会が積極的に関わり、取り組んでいけるよう頑張りたいと思います。

（会長 秋山 重次）



お年寄りと子どものふれあい地域サロン



魚のつかみ釣り

今後、役員一丸となって自治振興会のあり方を模索しながら、いつまでも安心して楽しく暮らしてゆける地域づくりに向け頑張ります。（役員一同）



「おじいちゃん」「おばあちゃん」と昔懐かしいお菓子づくりをしました。

有木自治振興会

有木自治振興会では、昨年九月二十七日に設立以来、何をすればよい地域づくりになるのか、三つの部会が中心となって検討してきました。旧有木公民館の事業を継承した活動が主になりますが、新しい取組みとして地域住民の交流の場へ高齢者なども参加しにくい人にも参加できるように「新春交流会への送迎」を、また、大切な地域資源であり県自然環境保全地域である「魚切りの滝」の周辺整備として草刈や植樹を計画しています。
八月十三日（土）には自然に触れ合って遊ぶことが少なくなっている近年のごも達にしさを教えよう！！ 都会に住む人たちに農村の魅力を伝えよう！！ と振興会の主要行事として「田舎体験しませんか！！」を開催し、「トモロコシのまき取り体験」と「魚のつかみ釣り体験」を行いました。このイベントに地元はもとより、お盆の帰省客や福山市などの都市部から約二〇〇人の参加があり大盛況の内に終了することができました。



大きいトモロコシが取れたよ！！